



家畜保健衛生所だより

R7.4.1

千葉県旭市で豚熱（CSF）が発生 （国内97例目、千葉県初）

3月31日、千葉県旭市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。
千葉県の養豚場での発生は、今回が初の事例となります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 千葉県旭市
- ・ 飼養頭数 約5,480頭
- ・ 疫学関連農場: 4農場、約370頭
 匝瑳市 約150頭^{※1}、香取市 約50頭^{※1}、
 茨城県茨城町 約100頭^{※1}、茨城県城里町 約70頭^{※2}
 ※1: 当該農場から10日以内に移動があった子豚
 ※2: 10日以内に患畜と接触のあった繁殖豚
- ・ 経緯 3月30日: 農場から子豚で異状(死亡増加、ひね豚、活力低下等)がみられる旨の通報があり検査を実施。
 国による精密検査の結果、3月31日、CSFの患畜決定

愛媛県では、昨年中に養豚場(1例)及び野生イノシシ(6例、うち1例は中予管内)でCSFが発生しており、県内でも広範囲にウイルスが存在する可能性があります。野生動物の侵入防止対策や出入りの際の消毒等の飼養衛生管理及び早期発見・早期通報の徹底をお願いします！

◎適時・適切なワクチン接種が重要です。

飼養衛生管理を徹底の上で、適切なワクチン接種を行ってください。

◎農場内・豚舎内へのウイルス侵入防止対策について再点検を！

ワクチン接種しても全ての豚が免疫を獲得できるわけではありません。農場の対策を再点検し、不十分な場合には、強化・徹底をお願いします。

◎飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします。

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)